

【基本方針】

「居心地がよく、笑顔で過ごすことができる空間を作る」

【年間目標】

- ① 介護事故を防止し、利用者様のADLの維持向上を図る
- ② 利用者様に常に笑顔で過ごしていただける環境づくりを行う
- ③ 職員の介護技術及び接遇マナーを向上させ、より良い介護を目指す
- ④ スタンダードプリコーションを実施し、デイサービス内での感染症の蔓延を防ぐ
- ⑤ 利用者様の社会的孤立感を軽減し、地域との共生を目指す

【実践計画】

- ① 介護事故を防止し、利用者様のADLの維持向上を図る
 - ・利用者様の状態把握に努め、起こりやすい事故を想定し、事故につながらないように丁寧な介護を行うとともに、環境整備に配慮する
 - ・事故報告書・ヒヤリハットの内容を、事故当日・1ヶ月後に振り返り、同様の事故防止に努める
 - ・利用者様の状態変化の詳細まで情報共有を行い、対応策について事前に協議し、無理のない介護を行う
 - ・利用者様個々の心身状態を把握した上で、個別機能訓練やレクリエーション・体操等を実施し、ADLの維持向上を図れるよう、定期・随時に内容を検討する
 - ・CHASE（科学的介護推進体制）の運用を実施し、厚生労働省よりのフィードバックを受ける事で、利用者の身体機能を評価考察し、活動の有効性の向上を図る
- ② 利用者様に常に笑顔で過ごしていただける環境づくりを行う
 - ・言葉遣いや態度に注意し節度を持った対応を行うと同時に、親しみのある温かい雰囲気を感じてリラックスして過ごしていただけるようにする
 - ・新型コロナウイルスの影響により外出行事が困難になっているため、季節の花を制作する・涼しげなお菓子を作る・屋台で料理の提供や買物をする等、施設内で季節を感じられるような企画を立案する
 - ・毎月季節的尚且リハビリ要素も含んだ新しいレクリエーションの企画を行い、楽しんでいただく
 - ・行事やレクリエーションに参加されない利用者様や、帰宅前の待ち時間などにも退屈することのないよう、小グループでのリハビリ体操・昔話・手指を使った卓上でできるゲーム等を実施する
- ③ 職員の介護技術及び接遇マナーを向上させ、より良い介護を目指す
 - ・申し送りや会議の時間を利用し、利用者様個々の状態把握に努め、どの様な支援を行っていくかを検討し、同じレベルの介護を提供できるようにする
 - ・新型コロナウイルスの影響にて外部研修参加が困難なため、オンライン動画等を利用して介護技術等の講習会を開催し、職員同士で現場に対応した介護技術等の指導を行う
 - ・接遇マナーを常に意識し、職員同士で注意しあえる職場環境づくりを行う。

- ④ スタンダードプリコーションを実施し、デイサービス内での感染症の蔓延を防ぐ。
- ・利用者様・職員ともに、手洗い・うがいの励行、マスクの着用等常に呼びかけ、実施の促しを行う
 - ・デイサービス内の温度・湿度管理、定期的な換気、使用物品の消毒等を実施する。
 - ・感染症の現状や症状・対応策等の情報提供を行い、感染症予防の意識付けを行う。
- ⑤ 利用者様の社会的孤立感を軽減し、地域との共生を目指す
- ・希望には可能な限り対応し、デイサービスに休まず来ていただくことにより、利用者様の他者交流の機会を確保する
 - ・送迎時等ご家族様や地域の方々との挨拶や情報共有により、利用者様の不安を軽減しニーズに対応できるようにする
 - ・各事業所への情報共有を密に行い、利用者様の困りごと等に早急に対応できる窓口となるように努める

令和3年度稼働目標

年月	登録者平均	平均利用者数	累計利用数	出席率	稼働率	年累計稼働率
4	58	46	46	79.7%	77.0%	77.0%
5	58	49	47	84.3%	80.9%	79.0%
6	58	51	48	87.6%	84.3%	80.7%
7	58	50	49	86.3%	82.8%	81.3%
8	57	47	48	82.1%	78.2%	80.7%
9	58	49	48	84.8%	81.4%	80.8%
10	58	49	49	85.6%	82.1%	81.0%
11	57	49	49	86.2%	82.1%	81.1%
12	58	50	49	87.4%	84.0%	81.4%
1	57	50	49	87.7%	83.9%	81.7%
2	58	50	49	86.3%	83.3%	81.8%
3	58	49	49	84.5%	81.5%	81.8%